

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

LOH 症候群(加齢男性・性腺機能低下症)診療 の手引き

日本泌尿器科学会・日本メンズヘルス医学会・LOH 症候群(加齢男性・性腺機能低下症)診療の手引き作成委員会(委員長 堀江重郎)

医学図書出版株式会社 2022 年 12 月 10 日発行

Minds 掲載 無

■1 当帰芍薬散、桂枝茯苓丸、加味逍遙散

疾患:

LOH 症候群

引用など:

天野俊康, 小嶋喜友, 松下友彦, ほか. 男性更年期障害治療における漢方薬の位置づけ.
日本性機能学会雑誌 2003; 18: 307-11.

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『LOH 症候群を扱う外来への受診者は、早期の治療開始を希望する場合もあり、TRT 以外の治療法があることが望ましい。その選択肢の一つとして漢方治療薬があげられる。』

■2 当帰芍薬散、桂枝茯苓丸、加味逍遙散

疾患:

更年期障害

引用など:

齋藤滋・女性医療、母子医療、北島政樹編・漢方の科学化－Kampo Science Visual Review
ー、ライフサイエンス、東京、2017、pp110-125.

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『当帰芍薬散、加味逍遥散、桂枝茯苓丸は女性更年期障害に対する3大漢方治療薬とされている。これらのメカニズムに関しても、加味逍遥散、桂枝茯苓丸は、血中 IL-8 を抑制することでホットフラッシュを改善し、さらに加味逍遥散は、血中 IL-6 を抑制することで精神神経症状を改善すると考えられている』

■3 補中益気湯、十全大補湯

疾患:

更年期障害

引用など:

- 1) 寺澤捷年・絵でみる和漢診療学、医学書院、東京、2011.
- 2) 風間泰蔵, 高峰利充, 水野一郎, ほか. 男性不妊症における実虚証判定と補中益気湯療法の効果について. *日本不妊学会雑誌* 1996; 41: 151-8.

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『身体の病的エネルギーが有り余っている「実証」の場合にはこれを取り去る方向に、治そうとする生命エネルギーが不足している「虚証」の場合にはそれを補うように行い、「補瀉」の原則とされている。しかしながら和漢診療の専門でないと日常の臨床現場において「証」の判定は容易ではない。そこで比較的簡単な問診票を用いそのスコアより、0~44 を虚証、45~55 を中間証、56~100 を実証と判定し、その「証」に基づいて治療に用いる漢方治療薬選択の参考にすることも一法である』

■4 漢方薬

疾患:

LOH 症候群

引用など:

Amano T, Imao T, Takemae K. Clinical efficacy of Japanese traditional herbal medicine (Kampo) in patients with late-onset hypogonadism. *Aging Male* 2010; 13: 166-73.

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『LOH 症候群受診者の実虚問診票のスコアは 47.4 ± 10.2 と低値であり、実証は 17.2%、中間証 48.4%、虚証 34.4%と虚証～中間証が多数を占めていると報告されている』

<以上 1~4 の記載として>

備考:

『表 2 漢方薬選択の基準』に以下の処方が掲載されている。

当帰芍薬散、加味逍遙散、桂枝茯苓丸、柴胡加竜骨牡蛎湯、八味地黄丸、補中益気湯、柴胡桂枝乾姜湯、抑肝散

■5 漢方治療薬(柴胡加竜骨牡蛎湯など)

疾患:

LOH 症候群

引用など:

- 1) Michihara S, Shin N, Watanabe S, et al. A Kampo formula, saikokaryukotsuboreito, improves serum testosterone levels of castrated mice and its possible mechanism. *Aging Male* 2013; 16: 17-21.
- 2) Zang ZJ, Ji SY, Dong W, et al. A herbal medicine, saikokaryukotsuboreito, improves serum testosterone levels and affects sexual behavior in old male mice. *Aging Male* 2015; 18: 106-11.
- 3) Choi SW, Jeon SH, Kwon EB, et al. Effect of Korean Herbal Formula (Modified Ojajeonjonghwan) on androgen receptor expression in an aging rat model of late onset hypogonadism. *World Journal of Men's Health* 2019; 37: 105-12.
- 4) Tsujimura A, Takada S, Matsuoka Y, et al. Clinical trial of treatment with saikokaryukotsuboreito for eugonadal patients with late-onset hypogonadism-related symptoms. *Aging Male* 2008; 11: 95-9.
- 5) Tsujimura A, Miyagawa Y, Okuda H, et al. Change in cytokine levels after administration of saikokaryukotsuboreito or testosterone in patients with symptoms of late-onset hypogonadism. *Aging Male* 2011; 14: 76-81.
- 6) Nishimatsu H, Kitamura T, Yamada D, et al. Improvement of symptoms of aging in males by a preparation LEOPIN ROYAL containing aged garlic extract and other five of natural medicines - comparison with traditional herbal medicines (Kampo). *Aging Male* 2014;17: 112-6.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

7) Lee KW, Bae SR, Jeong HC, et al. A randomized, controlled study of treatment with Ojayeonjonghwan for patients with late onset hypogonadism. Aging Male 2020; 23: 264-71.
有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『マウスやラットによる動物実験結果からは、柴胡加竜骨牡蛎湯などの漢方治療薬投与により血中のテストステロン値が上昇するという報告も散見されるが、臨床においては漢方治療薬で血中男性ホルモン値上昇は認められておらず、LOH 症候群に対する漢方治療薬の機序はテストステロンを介するよりも、インターロイキンやインターフェロンといったサイトカインなどの関与の可能性も考えられている』

■6 漢方薬

疾患:

LOH 症候群

引用など:

天野俊康. LOH 症候群における漢方療法の有用性. 臨床泌尿器科 2015; 69: 82-7.

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の項に以下の記載がある。

『「証」を考慮して選択した漢方薬の LOH 症候群症状改善効果は著効 40.5%, 有効 30.4%, 無効 29.1%で 70.9%に効果が認められた。』

副作用に関する記載ないしその要約:

『副作用は全体で 2.1%に認められたがいずれも軽微であった』

■7 当帰芍薬散、加味逍遙散、桂枝茯苓丸、柴胡加竜骨牡蛎湯、八味地黄丸、補中益気湯、柴胡桂枝乾姜湯、抑肝散

疾患:

性機能障害

有効性に関する記載ないしその要約:

『17 漢方治療薬』の『5. 漢方治療薬の保険適応の状況』の項に以下の記載がある。

『・当帰芍薬散: 筋肉軟弱, 易疲労性, 腰脚の冷え～貧血, 倦怠感, 更年期障害, 月経不順
・加味逍遙散: 体質虚弱な婦人, 易疲労感, 精神不安～虚弱体質, 月経不順, 更年期障害
・桂枝茯苓丸: しっかりした体格, 赤ら顔, 腹部充実～月経不順, 更年期障害, 睾丸炎
・柴胡加竜骨牡蛎湯: 比較的体力あり, 心悸充進, 精神症状～高血圧, 神経衰弱症, 陰萎

- ・八味地黄丸：疲労，倦怠感，頻尿～陰萎，腰痛，膀胱カタル，前立腺肥大
- ・補中益気湯：消化機能低下，四肢倦怠感，虚弱体質～食欲不振，陰萎，多汗症
- ・柴胡桂枝乾姜湯：体力弱く，冷え性，神経過敏～更年期障害，神経症，不眠症
- ・抑肝散：虚弱な体質，神経がたかぶる～神経症，不眠症

以上のように各漢方治療薬の説明の後半部にあげた効能・効果のある症状を確認し，保険適応に合致し，かつ治療効果が期待できる漢方治療薬の投与を検討する。』